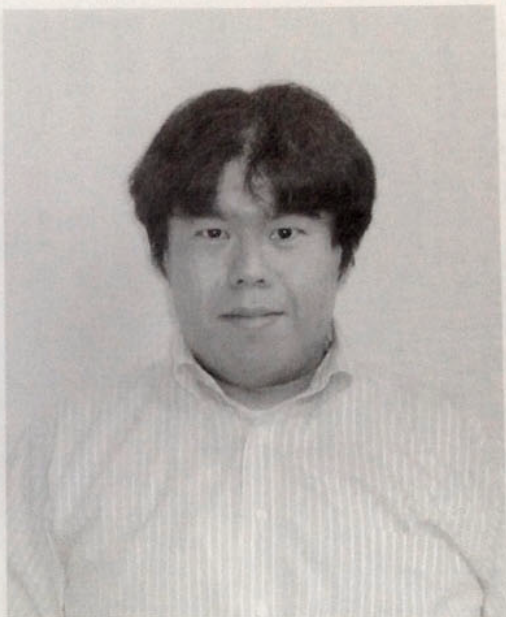


がんばろう
ニッポン!



直接被災していない我々こそ
備えの意識を高める姿勢が必要



(有)アクセス ユープラン
代表取締役

中溝一仁

「がんばろう、ニッポン!」と言われても、正直、何をどうすればいいのかピンときません。多少なりとも義援金はおくりました。節電も一応心の片隅にあります。被災地の商品も買ってみました。でも、いまいちピンと来ないのは、自分たちが直接的な被害を受けていないからだと思います。個人的には、家族や親戚が被害を受けたり、会社や取引先が被災したり、ということはありませんでした。つまり、意識として「生活様式を変えなければ」という思いはあっても、外的な圧力によって強制的に生活や仕事の変革を迫られているわけではないのです。一方で、「がんばろう」と被災地の方々に言ったところで、多くの人はきっともう十分「がんばっているのだ」と思います。ということは、

「がんばる」のは被災地の方々ではなく、「非」被災地の我々ではないかと思えます。

東日本大震災を受けて本年4月には、弊社パソコン教室において「災害に備えよう!」と題して、いざという時に役に立つパソコン活用術講座を無料開講いたしました。また、7月には震災時に有用だったと言われる「ツイッター」を特別講座で再び取り上げます。自分たちの自然災害に対する備えの意識を少しでも高めていき、同時に、少しでも自分たちの周りにいる人々の意識も高めていくことができれば、と考えています。自分たちができる貢献を行っていき、その活動を広めていくことが、微力ながら「がんばろう、ニッポン!」につながっていくべきだと思います。